

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月22日

【評価実施概要】

事業所番号	773200464		
法人名	医療法人 博文会		
事業所名	認知症対応型共同生活援助施設クレール双葉		
所在地	福島県双葉郡大熊町熊字新町214番地の1 (電話) 0240-32-5577		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉ネットワーク		
所在地	福島県錦町竹の花20		
訪問調査日	平成19年11月22日	評価確定日	平成19年12月22日

【情報提供票より】(平成19年11月17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 4月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	23 人	常勤23人, 非常勤	人, 常勤換算23人

(2) 建物概要

建物構造	RC 造り		
	1階建ての ~ 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	31,500 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	円
	または1日当たり		900 円	

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	27 名	6 名	女性	21 名
要介護1	1	要介護2	10	
要介護3	9	要介護4	4	
要介護5	3	要支援2		
年齢	平均 85.4 歳	最低 70 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 博文会 双葉病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

明るく、のんびり、ゆったり、楽しくの住まいづくりは、運営者の考えでもありそのまま管理者・職員の理念となり、そのメリットを十分に生かして運営がなされている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)	前回の評価を一つのクリアすべき目標にして全員で取り組んでいた。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	管理者を中心に職員全員で真剣に考え、いかに実践に結びつけようかとする意欲が表れている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5)	会議の中で出た意見を参考にして、ミーティングを通してサービス向上に生かしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)	定期的な情報の伝達はないが、ご意見箱を設置したり、面会時には家族から積極的に話を伺い、苦情等はミーティングを通してサービスに反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	運営推進会議にて、地域資源の情報を得て地域との関わりを深めて行こうとしている。消防・防災に関しては定期的に通報訓練,避難訓練で指導を得ている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	敷地全体も広く、建物の配置も余裕を持ってなされており、地域と共生する場を提供する意気持ちは感じられた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「明るく、のんびり、ゆったり、楽しく」理念の1部通り、運営者により施設・設備は作られており、管理者・責任者ともその良さ・価値を理解して取り組んでいた。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	グループホームとして地域、行政にアピールし互いに共生の道を歩もうとしている。相馬野馬追いにはテントスペースを確保してもらい、毎年参加している。夏祭りを催し地元・家族の参加を得ていた。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は外部評価を参考にすべく、積極的に受け入れようとしていた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催している。包括支援センターのケアマネージャーに参加を依頼、家族代表・地元民生委員の参加も含めて行われていた。</p>		
6	9				
4.理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>来所時に面談により報告している。電話等問い合わせに応じ説明するようにしていた。</p>	○	<p>利用者への対応等、十分に実施されている活動状況を定期的・積極的にアピールして欲しい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族等からの要望があれば、ミーティング時に職員に知らしめ、改善すべきところは早めに取り入れ善処していた。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>今年は少し多目の人事異動があった。異動による即戦力の補強も感じた。賛否は分かれるところで、長い目で見れば双方の活性化にも成り得るかもしれないと感じた。</p>		<p>人事異動の前後に、利用者への配慮。</p>


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	8月に実践者研修へ参加。 グループ系の他の老健施設又は医療施設との人事交流も一種の研修・教育として考えていた。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	このグループホームは総合的に見て、今の段階ではソフト・ハードの面でも完成形に近いと思われるが、交流を通じさらに、ソフト・ハードの面で得るものは多いと考えている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)			
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家族のように話しやすい雰囲気をつくり、職員も入居者も和やか場をつくっていた。行事を職員が楽しく企画していた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人から話を聞き、思いや希望の把握に努めていた。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>各棟に2名の計画作成担当者が配置されていた。毎日のミーティングをベースにして、年2回のケース検討会を実施していた。家族との面会で希望を聞き計画に反映させるべく努力していた。</p>		<p>定期的な介護計画の見直しについての協議があっても良い。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>実務的に、入退院時や状態的变化に応じて見直ししていた。本人の希望、家族との面会時に話し合い、そのつど見直し行う考えを持っていた。</p>		
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>平八ノ家族の状況、その時々や女性に 応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている（小規模多機能居宅介護）</p>			

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	本人の意向を尊重しかかりつけの病院での受診を優先した。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	ターミナルケアは行っていないが、入居時に家族と話し合い、その状況になったらさらに密に話し合う努力をしていた。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	対話の中にもプライバシーの尊重、自尊心への配慮には気を遣っている。ケース記録は見えない扉の中に保管していた。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	施設内の掃除等その他の業務も、入居者の生活ペースに合わせて行う努力はしていた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も入居者と一緒と同じテーブル食事を取り、その空間は共有しているが、その後の片付けは職員のペースで行われるのも見られた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	原則1～2日おきに考えられてるが、入浴希望を聞き個人の意思決定を尊重し行われていた。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	各人の趣味や希望を聞き、簡単で出来るものから生活の中に取り入れ生かしていた。散歩を兼ねて買物に付合う、雑巾縫い、塗り絵等気分転換になるものが多かった。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	金銭の自己管理が出来る人は限られているが、買物には付き合い支払は自らがするのを見守っていた。本人の希望で温泉に連れて行くこともあった。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関も鍵をかけず、出かける時は付き添うようにしていた。入居者の状態に応じての見守り・声掛けも行っているようだった。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>地元消防署からの協力も得て、定期的に通報訓練、避難訓練で指導を得ていた。特に火災を意識しての訓練には意を注ぎ、力を入れていた。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分・食事チェック表は作成され、入居者の状態に合わせた水分の摂取は管理されていた。水分補給のためゼリーを提供していた。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は広く明るく、和室や食堂のテーブルにはさりげなく花や植物が飾ってあった。季節を感じさせる飾り付けがしてあった玄関には、楽しみながらくつろげるよう椅子も置いてあった。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>好みで持込が極端に少ない入居者も見受けられた。多くの入居者は生活曆をしのばせる物を持ち込み、入所するまで続けていた趣味の一部を目の前にしている人の姿もあった。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（別紙1）を添付すること。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 クレール双葉

記入担当者名 横田桂一

評価結果に対する事業所の意見

ありません。

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。